

第1回国有林モニターアンケートの結果

「平成28年度関東森林管理局の重点取組事項」を配布し、それぞれの取組事項について、関心の度合いを選択形式で、その理由やご意見を記述形式でアンケートを実施しました。

得られた結果、ご意見は、今後、国有林モニターの方々との情報・意見交換に活かし、業務への活用に取り組んでいくこととします。

ご協力いただき大変ありがとうございました。

1. 選択形式の結果について

関心度合いについて、「関心が高い」、「関心が低い」、「どちらでもない」、「よく分からない」の4つの選択にて、アンケートを実施しました。

結果は下表のとおりです。どの取組事項についても、「関心が高い」と回答された方が多くなりました。その中でも特に多かった項目は、「森林整備の計画的な推進」、「治山事業の推進による災害に強い山づくり」、「海岸防災林の復旧・再生」でした。

表 各重点取組に対する選択者数（回答者全56名中）

重点取組事項	関心が高い	関心が低い	どちらでもない	よく分からない	無回答
1 林業の成長産業化への貢献					
①森林整備の計画的な推進	48	1	5	2	0
②林業の低コスト化の普及・定着	37	6	7	6	0
③民有林との連携強化	33	3	16	4	0
④林産物の安定供給	39	2	9	6	0
⑤人材育成・民有林行政への支援	38	2	10	4	2
2 野生生物との共存に向けた貢献					
①野生鳥獣被害対策の推進	39	1	11	3	2
②生物多様性の保全	40	1	10	3	2
3 緑の国土強靱化に向けた取組					
①治山事業の推進による災害に強い山づくり	47	1	3	3	2
②災害発生時における民有林への貢献	28	4	12	9	3
③森林土木工事における木材利用の推進	29	2	10	11	4
4 東日本大震災からの復旧・復興への貢献					
①海岸防災林の復旧・再生	44	1	3	4	4
②森林除染等への貢献	38	2	9	5	3
5 「国民の森林」としての管理経営					
①森林とふれあい、森林環境教育の推進	41	4	8	0	3
②双方向の情報受発信	39	4	9	2	2

2. 記述形式の結果について

関心度合いの理由や、取組に対するご意見等の記載をお願いしたところ、たくさんのご回答をいただきました。

以下はその抜粋です。各意見の前の（ ）はその回答をされた方の関心の度合いです。

1 林業の成長産業化への貢献

①森林整備の計画的な推進

- ・（関心が高い） 森林の果たす役割は多岐に渡り、とても重要だと常日頃から思っている。そして木は草花と異なり成長に時間が必要であり、安定した状態を保つために計画的に植樹し、間伐し、森林を健康にしておくことが大切。
- ・（関心が高い） 人工林の齢級構成グラフを初めて見た。高齢級の人工林が増加している事も初めて知った。
- ・（どちらでもない） 花粉症発生源の対策が行われていることを初めて知り、是非推進してもらいたい。“森林整備の計画”は、どのように計画されているものなのか、具体的にイメージしにくかった。

②林業の低コスト化の普及・定着

- ・（関心が高い） 国有林だけでなく民有林に広く低コストで高効率な作業システムが導入されていくのを望む。
- ・（どちらでもない） 林業に携わっていないのでよく分からないが、次に森林を見る時は列状間伐等を観察したい。
- ・（よく分からない） 列状間伐だとなぜ効率的で生産性が高く、かつ安全なのか、分からなかった。

③民有林との連携強化

- ・（関心が高い） 民有林への啓発的事業が大事。人手不足により民有林経営がとどこおっている。国策として応援していいのではないか。
- ・（関心が高い） 日本の林業に適した林業機械の開発と共同利用化で、国有林のみでなく、民有林の林業低コストの支援を望む。
- ・（どちらでもない） 隣接する民有林と一体となった事業は重要。引き続き、間伐等で連携した森林整備の推進を望む。

④林産物の安定供給

- ・（関心が高い） 私の住む村は木質バイオマス発電を行っている。又、雑木を利用し、ペレットも製造し冬場の暖をとっている。上等木材以外の利用もあるので、安定供給は木材の質の幅を広げるためにも必要。
- ・（関心が高い） 地場産業を盛んにして活性化につなげてほしい。
- ・（よく分からない） 木材の流通過程、価格など良くわからない。（野菜・魚などの流通過程や価格などは身近であり、なんとなく分かる）

⑤人材育成・民有林行政への支援

- ・（関心が高い） もっと若いうちから森林に携わる仕事があるのだという認識を、都

市部でも知らせていけるとよい。

- ・（どちらでもない） 国有林職員が地域の森林整備計画に関わっている自治体へ出向き、支援、交流を図れば人づくりは前進する。
- ・（よく分からない） 人材育成は必要なことだと思うが、「森林総合監理士」の具体的な仕事内容がイメージしづらかった。

2 野生生物との共存に向けた貢献

①野生鳥獣被害対策の推進

- ・（関心が高い） シカのみならず、熊、イノシシ、猿被害は、防護柵や捕獲が十分でないことを示している。猟友会レベルでなく、予算化を図って官民で捕獲事業化を図るべき。
- ・（関心が高い） 山へ入るとシカによる被害を受けた樹木を多く見かける。もう「動物がカワイイ」というレベルを超えた被害も多いので早急な対策が必要。
- ・（関心が高い） 猟友会の人数が減少しているとのニュースを耳にしたことがあるので人材育成が必要。

②生物多様性の保全

- ・（関心が高い） 世界遺産や絶滅の危機にある動物を守ることは大事ですが、野生鳥獣被害対策の推進の取組と平行して考えてほしい。
- ・（関心が高い） 身近な生活場面で、動物、植物の外来種が多くなったように感じる。日本固有の生物が危機的状況にならないように計画的な外来種の駆除はある程度必要。外来種について、知らない人が多いので、もう少し啓発してもいいのではないか。
- ・（どちらでもない） アカギやモクマオウなど、外来種の駆除を実施しているとあったが、それがどういったものなのかよく分からなかった。

3 緑の国土強靱化に向けた取組

①治山事業の推進による災害に強い山づくり

- ・（関心が高い） 最近では地球温暖化による不順な季候となり、いたるところで災害が起きているから、強い山づくりはとても大事である。
- ・（関心が高い） 崩壊地の復旧や減災対策で、単にコンクリートで固めるのではなく、自然を活かした形になっているのを魅力的に感じた。
- ・（関心が高い） この資料の中で一番関心が高い。千葉県内もかなり急傾斜地があるので、事前防災、減災対策は大切な事。

②災害発生時における民有林への貢献

- ・（関心が高い） 災害発生時、いつ、どこで発生しても協力体制がなければ対応できない。知識と技術を共有し、支援体制をつくることや初動対応が重要。
- ・（関心が高い） 大規模な地震や山火事による災害が発生した時のことを考えると当然。
- ・（関心が高い） 民有林の担当者との連携を強化してほしい。

③森林土木工事における木材利用の推進

- ・（関心が高い） 今、色々な所で土木工事における木材利用を見かけ、自然な感じがいいと思う反面、強度は大丈夫なのかと心配に思うこともある。

- ・（関心が高い） とても良いアイデアである。木材はCO2を固定させると聞いており、治山工事で木材を使用するのはおもしろい。
- ・（関心が高い） 計画的に森林整備していくためにも、各種工事で木材利用を推進していくことが必要。

4 東日本大震災からの復旧・復興への貢献

①海岸防災林の復旧・再生

- ・（関心が高い） 長期にわたる取組だと思うが、震災前よりも一層強くなった海岸防災林になることを望む。
- ・（関心が高い） どの程度復旧してきているのか、今後の目途等、具体的に知りたい。
- ・（関心が高い） 被災した防災林の再生は重要であり、企業やNPOとの協力も良い。

②森林除染等への貢献

- ・（関心が高い） 除染作業は本当に大変な仕事だが、森林施業を円滑に再開するためにも是非していただきたい。
- ・（関心が高い） 仮置場については反対意見がありますが、どこかでは処理しなくてはならない。
- ・（関心が高い） 除染で出た除去土壌の「仮」置場の次の段階が気になる。

5 「国民の森林」としての管理経営

①森林とのふれあい、森林環境教育の推進

- ・（関心が高い） 木に囲まれた我村に住む子供達でさえ、放っておけば山へ入らず大きくなり、村を離れてしまう。森林教室や実際に山へ入って学んだりすることも大切。子供に教えるのは大人の役目。
- ・（どちらでもない） 子供達が森林環境を考える機会を持つことは大切。都会や海に近い子供達にも体験してもらいたい。
- ・（どちらでもない） 広く国民に周知を図るべく、今以上に森林教室、体験林業等に取り組むべき。

②双方向の情報受発信

- ・（関心が高い） 様々な人の声を聞き入れることやその姿勢はとても大切。これからも続けて欲しい。
- ・（関心が高い） モニターを依頼され、私自身も今以上に国有林野事業に理解を深め、双方向の情報受発信に努め、交換会等に参加したい。
- ・（関心が低い） もっとメディアSNSを使った情報の発信をしたほうが良い。

全体を通じて

- ・ 重点取組事項の趣旨は理解できるが、趣旨に至った過去の問題や取組へのプロセス等、時系列に少し説明等有ると、我々一般人は少し理解が出来る。
- ・ あまり関心のなかった森林ですが、今回、モニターを通じて、送付された冊子により自分の生活と密着していることを実感した。これからもいろいろと知りたい。
- ・ アンケートの項目が細かすぎるのではないかな。